

ひかりの郷 日光国体

2014年1月28日(火)~2月2日(日)

<岩手県選手団>

- スピードスケート 19名
- フィギュア 3名
- アイスホッケー 17名

<入賞状況>

順位	種目	種別	得点入賞者	得点
3位	2000M リレー	少年女子	三嶋萌 (盛岡農 1年) 沼下樹帆・山崎朱香・濱田芽生子 (盛岡農 3年)	6点
6位	1000m	少年女子	三嶋萌 (盛岡農 1年)	3点
6位	フィギュア県対抗	少年男子	佐藤洸彬 (盛岡中央 3年) 柴田悠河 (盛岡中央 2年)	9点
7位	1000m	少年男子	芝西佑哉 (盛岡工 3年)	2点
7位	1000m	少年女子	濱田芽生子 (盛岡農 3年)	2点
8位	500m	少年男子	芝西佑哉 (盛岡工 3年)	1点
8位	1000m	少年男子	川村拓也 (盛岡農 3年)	1点

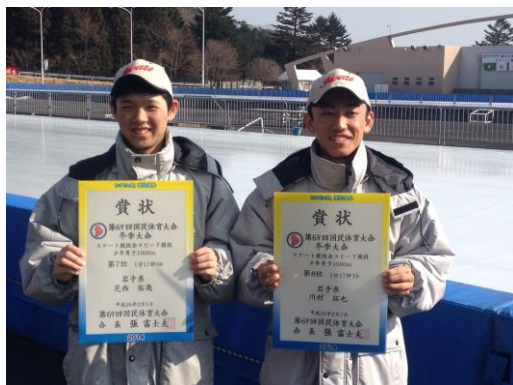
スケート・アイスホッケー国体を終了し、**20位24**。昨年に比べ順位を二つ上げ、競技得点**24点**は**2点増**で、**過去10年で最高の成績**を収めました。スピードスケートで少年男女1000mでエントリーした4選手(男2女2)が全員決勝に進み入賞したことは快挙でした。

また、少年女子2000mリレーにおいて、同種目では第12回1957年一般男子2000mリレーの3位以来**57年ぶり**、女子では初の3位入賞を成し遂げました。全種目を通して3位入賞は5年ぶり。64回2009年少年女子1500m西舘桂(盛岡農)以来の成績でした。

フィギュアでは、**県勢26年ぶり**となる**連続入賞**(68回5位・69回6位)を果たしました。佐藤洸彬選手(盛岡中央3年)は2年生の頃からインターハイで入賞選手として活躍し、その実力は国体でも発揮されました。



フィギュア少年男子6位



1000m 7位芝西選手 8位川村選手



2000m リレー 3位

アイスホッケーは成年男子が出場しました。出場 32 チームのトーナメント戦で行われ、1 回戦は佐賀県と対戦。今市青少年センターで行われた試合は終始岩手県のペースで進み6対3で勝利しました。2 回戦は前年度優勝、2 連覇中の東京都との対戦。第1ピリオド開始早々失点を許し劣勢を強いられる立ち上がりでしたが、その後は守備陣が奮闘し0対2で負けはしたものの大善戦しました。東京はその後優勝しました。岩手県のベスト16は6年ぶりの好成績でした。2年後の希望郷いわて国体に向け弾みのつく大会でした。

選手の皆さん、大変お疲れ様でした！

試合の様子

<アイスホッケー>



攻め込む岩手選手



試合前に円陣を組む岩手チーム！！

<スケート>



入賞した少年女子 2000m リレー



息をのむスタート



追いつける岩手選手



佐藤選手のジャンプ